

2024年6月13日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

「ひふみグローバル債券マザーファンド」の為替ヘッジ比率の引き下げについて

「ひふみらいと」をご愛顧いただきありがとうございます。

「ひふみらいと」の投資対象ファンドである「ひふみグローバル債券マザーファンド」の為替ヘッジ比率※を最低で0%まで引き下げることといたしましたのでお知らせいたします。為替ヘッジ比率の引き下げは6月20日以降より開始いたします。

「ひふみグローバル債券マザーファンド」の為替ヘッジ比率の引き下げは、「ひふみらいと」の現在の投資信託約款で規定された範囲内の対応であるため、ファンドの目的や運用の基本方針を変更するものではありません。

「ひふみグローバル債券マザーファンド」は為替変動リスクを抑制することを目的として、組入外貨建資産については為替ヘッジを行なうことを基本としておりますが、為替ヘッジには対象通貨と日本円の金利差等によってコストがかかる場合があります。2021年3月30日の「ひふみグローバル債券マザーファンド」の運用開始以来、欧米における政策金利の引き上げによって、米ドルやユーロ等と日本円の金利差は拡大しており、それに伴って為替ヘッジコストも高騰しております。また、このような状況は当面の間継続すると見込んでおります。

為替ヘッジコストの高騰や為替動向等の市況動向を総合的に勘案し、「ひふみらいと」の信託財産の中長期的な成長のため、一時的に為替ヘッジ比率を引き下げる判断をいたしました。為替ヘッジ比率の引き下げに伴い、「ひふみらいと」の為替変動リスクは拡大し、円高が進行すれば基準価額の下落要因になることが見込まれますが、為替ヘッジコストによる運用パフォーマンスの悪化を抑えることをより重視した判断をいたしました。なお、為替ヘッジコストが十分低下するなど、市況動向に変化が生じた場合には、為替ヘッジ比率を引き上げる場合があります。

「ひふみグローバル債券マザーファンド」の為替ヘッジ比率や通貨別比率等については、「ひふみらいと」の月次レポートにて毎月開示しております。

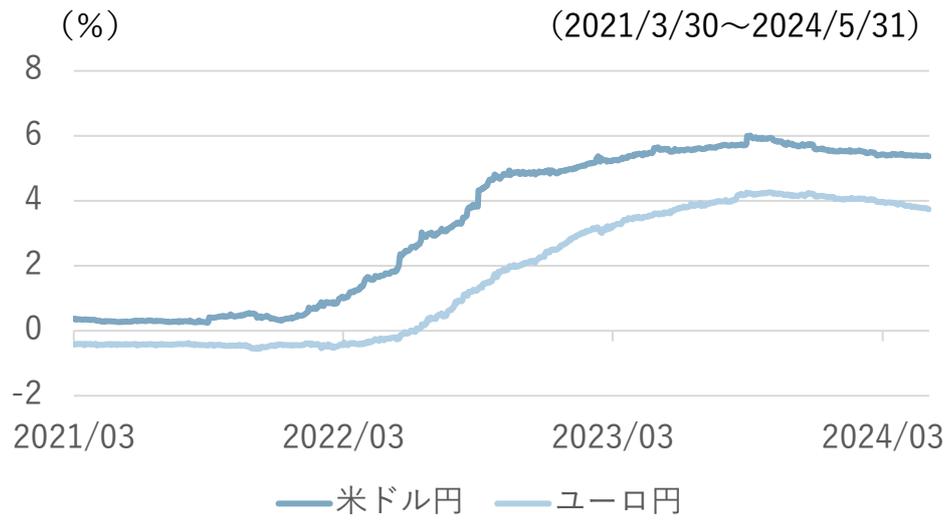
為替ヘッジ比率の引き下げについてご理解いただくとともに、今後とも「ひふみらいと」をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

ひふみグローバル債券マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

※ 「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

【ご参考】

3か月為替ヘッジコスト（年率）の推移



(出所) Bloombergの掲載情報を基にレオス・キャピタルワークス作成。